

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度 第3回諏訪区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 自主的審議事項（公開）

○ 二貫寺の森の活用について

1) 今後の進め方について

2) グループ及びテーマについて

## 3 開催日時

令和3年7月15日（木） 午後7時から午後8時20分まで

## 4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：川上 俊一、川上 奈津子、川上 久雄（会長）、服部 幸雄、堀川 悦郎、  
山岸 愛、山田 哲平（副会長）（欠席5人）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【藤井係長】

・会議の開会を宣言

・上越市域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・上越市域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

### 【川上会長】

- ・会議録の確認：川上 俊一委員に依頼

次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」に入る。事務局より「1) 今後の進め方について」説明を求める。

**【藤井係長】**

- ・資料 1、資料 2 に基づき説明

**【川上会長】**

今ほど事務局より、今後の自主的審議について「継続的なグループ審議」で進めていってはどうかとの提案があった。

これについて質疑を求める。

**【山岸 愛委員】**

基本的に賛成である。

この後の話になると思うのだが、2 チームに分ける・3 チームに分ける等どのようになるのか。大人数での審議ではなかなか意見のやり取りが難しいところもあるため、グループに分かれて審議すること自体はよいと思う。ただ人数等どのようなグループ分けで行うのかが気になる。

**【藤井係長】**

本日はグループ審議まで行えるのか分からないが、グループ審議をするとなった場合、どのようなグループを作るのか・どのようなテーマとするのかについて、協議のうえ決定することになる。

協議の結果として、テーマの数が 3 つなのか・2 つなのか、あるいは 3 つなのだが、1 つのテーマは後に置いておくとなれば、状況等に応じて必要なチーム数で進めていければよいと思っている。

単純に人数の話でいうと、都合によって出席できない委員がいる場合も考えると、「2 チーム・各 6 人」が協議しやすいかと思っている。

**【川上会長】**

本日のように欠席が多い場合には、なかなか話し合いが進まないことも考えられる。そのため、6 人ずつの 2 グループ程度での話し合いがよいかと思っている。

また、あまりテーマ自体が多くなっても、なかなか話をまとめることが大変になってくると思う。そのため、テーマも 2 つ程度がよいかと思っている。

**【堀川委員】**

グループ審議は通常地域協議会と同時に開催するとのことだが、グループ審議は会議の時間以外に実施するということでよいか。

**【藤井係長】**

基本的には地域協議会前または終了後に開催したいと考えている。

地域協議会委員の負担もそうだが、公開の会議でなければ費用弁償をお支払いできないこともあり、基本的には、地域協議会に併せて開催することがよいかと思っている。

なお、特にグループでの議論が必要となった場合には、別途グループ審議を開催することを妨げるものではなく、グループの意向により開催してもよいと思う。その場合には、事務局でもできる範囲で協力したいと思っている。

**【堀川委員】**

グループ審議にはどの程度の時間を取ってもらえるのか。

**【藤井係長】**

時間については、特に決まりはない。現実的な話とすれば1時間から1時間半程度になるかと思っている。また時間的に短くても、グループ審議を開催する目的が達成されるのであれば問題はないと思っている。

**【堀川委員】**

時間に制限はなかったとしても、各委員の都合等もあるため、できるときもあればできないときもあると考えている。

**【川上会長】**

基本的に、最初から議題が決まっている場合には、そちらを優先して進めていくことになるのだが、そうでない場合には自主的審議が主体となるため時間取りやすくなると思う。

今後の地域協議会では地域活動支援事業の追加募集の審査があるため、そこはどうしても時間を取らなければならない。だが、そのあとについては、報告事項等がなければ自主的審議が主体になると思う。

他に質問等あるか。

(発言なし)

では、事務局より説明があったように、今後は2チーム程度に分かれて継続的なグループ審議を進めていくこととしてよいか。

(よしの声)

以上で「1) 今後の進め方について」を終了する。

次に「2) グループ及びテーマについて」に入る。事務局より説明を求める。

**【藤井係長】**

・資料2、資料3に基づき説明

**【川上会長】**

事務局の説明を受け、イベント開催の検討をする・しない、また、グループのテーマについて協議していく。

最初に、イベント開催に向けた検討を「する・しない」についてである。グループでの検討を始める前に、「もっと情報収集したほうがよい」といった考えもあるかと思う。これについて意見を求める。

**【堀川委員】**

そもそも論になってしまい申し訳ないのだが、やはり1度現場を見に行かなければ、イベントをする・しないについても個人的には考えづらい。

**【川上会長】**

今ほど堀川委員より、実際に二貫寺の森を見ていないため、イベントができる状態にあるのか分からないとの意見があった。

**【堀川委員】**

イメージが掴めない。

実際にイベントをするにしても、どういったイベントができるのかとのイメージを掴むためにも、1度見てみなければならないと思う。なかなか時間がなく個人的に行けていないため前の道路を通っただけだが、「ここで何かできる」といった感じではなかった。中に入ってみれば違うのかもしれないが、外と中の両方を見てから意見を求めたほうがよいかと思う。

**【川上会長】**

二貫寺の森に行ったことがある委員もいると思うが、あまり行ったことがない委員もいるかと思う。

確かに、二貫寺の森でイベントを行うとの話が出たとしても、なかなか面倒かもしれない。そういったことも含めて、1度、地域協議会で二貫寺の森を見て、どのようなイベントができるのかを話し合ったほうがよいと思うが、どうか。

#### 【山岸 愛委員】

もっともな話だと思う。

もともと、「7月頃に見に行けるとよい」といった話も、以前出ていたかと思う。そのため、どこかのタイミングでどうなったのか確認しようと思っていた。「行く」との話から、「子どもたちの集まりがあるため、来られる人は来てほしい」といった話で終わっていたかと思う。

ただ実際、川上会長や数人の委員が来ていたのは見かけたのだが、他の委員は誰が来ていたのか把握していない。当日は二貫寺の森を1周回ってみたため、見た委員はイメージが掴めると思うのだが、その他の委員には多分、未知の世界だと思う。そのため1度、地域協議会委員で見に行く機会がほしいと思っている。

イベントの開催はすごく難しく、イメージも浮かんでいない段階であるが、2つのグループでそれぞれに将来構想をテーマにして話し合っていくのは、もったいない気がする。

とはいえ、具体的なイベントを急に考えるのも難しいため、イベントを開催するかどうか、できる状態なのかの確認も含めて検討し、その結果、イベント開催できない状況ではないと判断したら、方向転換して、テーマをイベント以外のものに切り替えるということでもよいのではないか。

例えば、2つのグループに分けるなら、1つのグループはイベント開催が可能か、そういうことを考えることが現実的かをまず考える。また、片方のチームに主動になっていただいて、「いつ見に行きましょう」みたいなことを考えてもらうような、そういう役割分担はどうか。

#### 【川上会長】

確かに、突然イベントをするか・しないかと言われても検討できるような状態ではないように思う。

そのため堀川委員の発言にもあったように、まずは現場がどういう状況なのかを見て、イベントの検討するのか、また、将来構想の話を検討するのかを考え、それ

からグループ分けをしてもよい。突然、「イベント開催」というのは話が早過ぎて、まだそこまではいっていないように思う。

#### 【服部委員】

2 グループある場合は、どちらかで1つの課題を検討してもよいのだが、ただ、農林水産整備課より先般いただいた資料では「市民の森条例」がある。それによると、あまりイベントができない。小さな自然環境だけのイベントになってしまうような文章となっている。

現状、「二貫寺の森の研究会」が活動しているのだが、町内会長から聞いた話では大学の教授より「あまり自然に手をつけるな」との話が出たため、物事がほとんど進んでいないとのことである。

ただイベントといっても、条例にあるとおり、「自然環境」「自然保護」に関連したイベントしか、現状の文書ではできないのではないかと考えている。

#### 【藤井係長】

事務局でも同程度の情報しか持っておらず、農林水産整備課が説明したとおりかと思う。ただ、具体的なイメージを持たなければ、関係者と、何ができる・できないといった協議はできないと考えている。

自然保護を特に重視しながらということになるかと思うが、「こんなことができないか」との案を持って、協議をしていってはどうかと考えている。

#### 【川上会長】

最初から「できる・できない」を決めるのではなく、「やってみてはどうか」といった意見を出して、提案したいと思う。

#### 【服部委員】

ただ、条例第4条では、「市民の森は、次に掲げる事業を行う」とあり、「市民の森の設置目的を達成するために必要な事業」と謳っている。そのあたりを理解した中で、イベントを考えたらよいかと思う。

やはり最初は、研究会との話合いのほうが大事だと思っている。地域協議会で一方的にイベント等を考えるより、現状で活動している組織と少なからず打合せをしたほうがよいとは思う。

#### 【川上会長】

いろいろな会と話し合いをして情報収集し、二貫寺の森をどのようなかたちで使えるのか聞かなければならないと思う。

事務局に確認である。草刈をする NPO 法人からも参加していただき、話を聞くことはできるのか。

**【藤井係長】**

現在の NPO の関わり方としては、以前の農林水産整備課の話聞いた限りでは、業務の受託者にとどまるのではないかと思っている。二貫寺の森をよくしていこうといった主体性のある活動にはなっていないかと、個人的には考えている。

だが実際にはそうではなく、二貫寺の森について考えているということであれば、相談できる相手になってくるのかとは思っている。

**【川上会長】**

いろいろな意見が出た。まずは、いろいろなところとの意見交換を行い、情報収集をする必要があるように思う。

他に意見はあるか。

**【山田副会長】**

自分も先ほどの服部委員の話聞き、確かにそのとおりだと思った。やはり情報収集が1番大事かと思う。

また堀川委員の発言にあったように、現在、二貫寺の森がどのようになっているのかといった現状の把握が第一だと思う。今回の提案の中で1番大事なことは、諏訪区の住民が二貫寺の森をどのように思っているのかが大事だと思う。住民が興味のあることをすることが大事だと思うのだが、興味のないもので話を進めていってイベントを行っても住民は来ないと思う。

そのため、まずはいろいろな人たちの意見を聞き、現状を確認した上で進めていくことが逆に近道かと思う。

**【川上会長】**

山田副会長の意見としては、まずは地域協議会委員が二貫寺の森の現状を知り、どのように使いたいのかを理解していかなければならないということだと思う。

情報収集として、いろいろなところから意見を聞く場を設けたほうがよいか。意見を求める。

**【山岸 愛委員】**

面倒なやり取りを取り払うためのグループ審議なのかと思っている。

要は、今のような話を2つに分け、話を聞く・住民アンケートを取るといったことを地域協議会で行うということだと自分は思った。

各委員の発言はもっともだと思っているのだが、グループ審議をする場合と、全体で根本的なところをもう1回検討するのとどちらがよいのかと思っているが、ただ、実施することは多分一緒だと思う。

単純にマイクを通さずに皆で意見を出しながら、二貫寺の森の研究会に会いたい・アンケートを取るといっても、結果として自分たちが思っている以上に地域住民が二貫寺の森に興味がないこともあると思う。それであれば、自主的審議自体を取りやめる、または見方・考え方を変えるといったことをグループ審議で話し合い、地域協議会で議題に上げてもらいたいと思っている。

**【川上会長】**

山岸 愛委員の意見としては、イベントをする・しない、情報収集をする・しないを決めるのではなく、まずはグループ分けをして、グループ審議をした内容を全体で話し合っていてはどうかということだと思う。

**【川上 奈津子委員】**

これまでの意見を聞いていて、確かにそうだと思う部分もある。だが結局、大勢で話し合っても意見がまとまらないと思う。ただ勉強会だけを何回繰り返しても、先には進めないとも思う。

そのため、事務局よりグループ分けの提案があり、以前にグループワークをした際には結構意見が出たため、同様に2グループから3グループに分かれてまとめていったほうが話は進むと思った。

もちろん、堀川委員や服部委員の発言にあった課題もあるのだが、それらはグループ分けをした後でもできることだと思う。そのため、グループ分けをしてから行ってもよいことかと思っている。

**【川上会長】**

川上 奈津子委員と山岸 愛委員の意見は似ているように思う。

**【山岸 愛委員】**

テーブルは近いほうがよいかと思っている。

**【川上会長】**

検討を進める前に、まずはグループ分けをして話し合ったほうがよいということだと思ふ。まずはグループに分かれてグループ審議を行い、いろいろな課題を見つけていくかたちで進めていってはどうかということである。

**【藤井係長】**

堀川委員より意見のあった「現場を見る」、服部委員より意見のあった「二貫寺の森研究会」から話を聞く・意見交換を行うといったことについては、どのような手順を踏むにしても実施すべきことかと思っている。

例えば、将来構想という言葉が大きくなってしまふのだが、地域協議会としてできることや、二貫寺の森の全体的な活用に向けた提案を考えていくことが1つかと思ふ。また、イベントができる・できないも含めて検討し、できないと結論付けられた場合には、方向転換する方法もあるかと思ふ。できるか否かも含めて、「現場を見る」「二貫寺の森研究会の話を聞く」ことを行いながら、並行してグループ審議を進めていってはどうかと思っている。

**【川上会長】**

事務局の提案としては、「現場視察」や「意見交換」等を行いながら、並行して提案のあったテーマに沿ってグループ審議を進めていってはどうかということだと思ふ。最終的に一緒になるかもしれないのだが、何もない状態ではなかなか話も進まないため、まずは2つにグループ分けをし、テーマを決めて検討していってはどうかということである。

本日は出席人数も少ないため、決めることが難しいと思ふ。

事務局より補足願う。

**【藤井係長】**

本日は欠席者が多いため、誰がどのグループに属するかを決めることはできないと思っている。ただ、本日出席の委員の希望を聞くことはできる。どちらかのグループに希望が偏った場合には、抽選やジャンケン等で調整する必要があるかと思っている。

**【川上会長】**

出席委員の希望を聞き、とりあえず仮でグループに分け、欠席者の希望はのちほど確認したいと思う。

【山岸 愛委員】

出席者の希望を聞くということか。

【川上会長】

そうである。

【藤井係長】

今後、議論が進んでいく中でテーマが2つになるのか、または違うものになるのかは別として、現状として思っていることは、例えば、イメージとして、「意見書の案を作るグループ」と「イベントを考えるグループ」の2つを置いてはどうかと思う。だが結果的に、意見書にはならないかもしれないし、イベントも開催に至らないかもしれない。

例えば、これらをテーマとしてグループを置き、進めていってはどうか。

【川上会長】

事務局より、2つのグループに分けて進めていってはどうかとの提案があった。あまり難しく考えてしまうと、何もできなくなってしまう。イベントにしても、それほど大きなイベントを行うのではなく、皆が参加できるようなものでもよいかと思う。実際、二貫寺の森の状況を考えても、それほど大きなイベントはできないかと思う。

そういったことも含めて、2グループに分かれてはどうか、ということである。なかなか難しいと思うのだが、話し合っていくうちに、よい方向に進んでいければよいと思っている。

とりあえず、本日出席の委員の希望を確認したいと思う。

【川上 奈津子委員】

内容的に女性が固まってしまうように思う。本日欠席の西嶋委員は「イベントの開催」を希望するように思う。男女比というわけではないのだが、偏らないほうがよいかと思う。

【川上会長】

－ 出席委員の希望を聴取 －

活用方法の検討グループ：川上 俊一委員、川上 奈津子委員、服部委員、堀川  
委員、山田副会長

イベント開催の開催グループ：川上会長、山岸 愛委員

**【藤井係長】**

グループ分けについて、本日は委員の希望を確認したということに留めたいと思う。欠席委員の希望も確認のうえ、人数バランスが悪くなるようであれば調整したいと思う。

なお、今後については、意見のあった「現場を見る」ことは何をするにしても大事なことかと思っている。また「二貫寺の森研究会」の話も同様に考えている。全体となるのか、グループがよいのかは別として、直接話を聞く・見る機会を作るよう進めていきたいと思う。

方向としては、そのようなかたちとしてよいか。

**【川上会長】**

やはり、まずは現場を見たほうがよいかと思っている。ただ、実際に現場を見るときとなった場合は、平日または休日の昼間になってしまうと思うため、なかなか調整は厳しいかと思うのだが、視察研修と同様に考えて進めるほかないと思う。

正副会長と事務局で調整のうえ決定したいと思うのだが、よいか。

(よしの声)

その後の他団体等との意見交換会も、改めて検討していきたいと思う。

以上で次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「2) グループ及びテーマについて」を終了する。

次に次第2 議題「(2) その他」に入る。本日の議題に関して、何かあるか。

(発言なし)

以上で「(2) その他」を終了する。

最後に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

**【藤井係長】**

- ・ 次回の協議会について説明
- ・ 次回の協議会：8月上旬ごろ 午後7時 諏訪地区公民館 集会室

- ・内容：地域活動支援事業（追加募集）の審査（ヒアリング・採択すべき事業の決定）

**【川上会長】**

次回の日程については、追って通知する。

事務局に確認である。次回の協議会では、自主的審議の時間を取ることは難しいか。

**【藤井係長】**

時間を見積もってからの判断になるが、もし時間が取れるようであれば、自主的審議のグループ分けを決定し、少しでも審議を進めていければよいと考えている。

**【川上会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail:chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。